

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和3年9月7日(火)
午前11時から午前11時16分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長)片岡健一郎(副委員長)梅村均
(委員)鬼頭博和、水野忠三、黒川武、堀 巖、榊谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 事務局出席 議会議務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 提出課題について

片岡委員長：内容について質問があれば。

黒川委員：2つほど課題を提出したが、「議会と大学の連携に向けて」については、この場ではふさわしくないと思ったので、別の機会のほうで提案したい。この課題について、ご意見があれば頂戴したい。

片岡委員長：黒川委員から提出された「議会と大学の連携に向けて」という課題については、取り下げということでお願いします。

梅村委員：デジタル社会形成促進事業について詳しく教えてほしい。

水野委員：全体的に抽象的なのはあえて幅を持たせているため。デジタル庁の発足など国の様々な動きがあり、国や県から補助金が下りるものは内容が決められたものになってしまうため、それだけでいいのかという問題意識があり、市として必要なものを出す中で、具体化できるものがあればと考えている。自主的な施策を策定し実施するところでもっと絞り込む必要があると考えている。現状分析等にベースレジストリというものがあるが、これは公的機関等で登録・公開されて様々な場面で参照される基本的なデータで、正確性・最新性が確保された社会の規範となるデータベースという意味合いである。このようなものを市としても整備していくべきではないかと考える。国の動きを見てからとなってしまうが、問題意識を持って取り組んでいきたい。具体的には、ドローン、ロボット、AI、自動運転等の話に展開していくべきものになると思う。

片岡委員長：根本的に大きな枠ということで、計画を立ててはどうかということか。

水野委員：提案の段階で具体化ができなかった。

梅村委員：10月、11月取り組むものを決めて、オンラインでの視察などの申し込みをして、課題を2つ、3つに絞れたらと思う。AED、食品ロスの関係につ

いては、まず10月、11月でやってみてはどうかと思う。

片岡委員長：AED、食品ロスについて、先進事例もあるし、先方の話が聞けそうな取組なので、この2つをまずはやってみてはとの提案があったがどうか。

黒川委員：五条川健幸ロードの除草対策もやってみてもいいのではと思う。市は年2回、県は年1回行っていると思うが、かつては老人クラブ連合会がボランティア的にやっていたが、急斜面で草刈り機を使用し、危険が伴うため打ち切りになった。市も県も地元でやっていただければ、費用を出すという姿勢である。ただ、1年を通してとなると体制が整わないと難しいが、チャレンジしてみてもいいと思う。可能性も含めて議会で取り上げてもそれなりの価値があると思う。

片岡委員長：大口町では先進事例として既にやっている。オンラインでの視察ができれば、話を聞くことも可能である。今までの話で行くと3つほど課題としてどうかという話があったが、1つに絞れたらと思うが。

(2) 今後の進め方について

梅村委員：進め方としては、今議会中にテーマを決めて、閉会中の審査事項を出して議決しなければならないため、9月定例会が終わるまでに相手先が受け入れ可能かどうか判断できるかどうか。もしくは、テーマを3つあげて、視察ができるものは視察をし、できないものは委員会を開いて議員間で話し合いをするということになるか。

片岡委員長：五条川健幸ロード、食品ロス、AED、それぞれ先進事例があるので、オンラインでの視察が可能かどうか確認し、その結果を伝えるため、本定例会中に協議会をもう一度開ければと思う。日程は改めて調整する。コロナが心配なのであまり集まらない方がいいと梶谷委員から意見があったがどうか。

梶谷委員：(音声不明瞭)

片岡委員長：3点については視察可能か確認するが、こういう状況なので、進めていくのかどうか、もう一度考えていただきたい。次回の協議会は、21日(火)の議会基本条例推進協議会終了後に開催する。

(3) その他

特になし。

9 その他

特になし。